

【参考 施設整備計画方針（事務局案）】

【基本理念】

環境創造と、環境学習を通じた交流拠点づくり
 ー 来て 見て ふれあって 環境を考えよう ー

【基本方針】

人と自然が共存・共生できる豊かな環境を保全・再生し、循環型社会の形成に取り組む

周辺環境を保全・再生し、自然との共存・共生の場を提供する

- 季節を感じ、自然の恵みを感じられる
自然環境を保全・再生する
- 生物多様性を図る
- 周辺景観との調和を図る

「ごみ」を通じて、資源と環境の大切さを学ぶ場を提供する

- 資源の循環を通じ、環境問題を学ぶ
- 廃棄物の適正処理、リサイクルを通じ、資源・環境問題を学ぶ
- 体験型の環境学習の場を提供する

豊かな心を育む集いの場を提供する

- 誰もが気軽に立ち寄り、自然にふれあうことができる場とする
- 住民と共に環境保全に取り組み、交流が図れる場とする
- 環境情報の発信拠点とする

委員の皆様からの提言一覧

【基本理念】

新たな環境創造により環境学習の場を提供する
楽しく環境学習ができる新しい環境を創造する
資源循環と環境創造を通じた交流拠点づくり －来て 見て ふれあって 資源と環境を考えよう－
日常生活とつながる施設（適正処理）、子どもたちの未来とつながる施設（環境教育活動の場）、そして人と人がつながる施設（交流と集いの場）をつくる
－再生・保全・協力から生み出される新しい自然環境の創造－
交流拠点となる環境学習を通して環境創造を図る －来て 見て ふれあって 環境を考えよう－
人と自然との営みに気づき、豊かな環境の創造を図る
人と自然との関係を見つめ直し、豊かな環境を創る
環境創造を大切に環境学習を通じた交流拠点づくり

【基本方針】

自然との共存・共生や、資源循環と環境保全の重要性等について考える体験と交流の場とする －来て 見て 感じて 考えよう－
人と自然が共存・共生できる豊かな環境を再生・保全し、循環型社会の形成に取り組む
豊かな自然と調和し、景観地や文化をそこなわない
生物多様性を維持しつつ、廃棄物を処理する現実課題を市民が共有できる
先進的、循環型社会の理解・実践の場として市民がほこれる
山林の再生と保全を通して、新たな人が活動できる場を提供する
間伐材に新しい付加価値を与える活動を展開する
再生される二次林において、自然に親しむ場と機会を提供する
収集される廃物をリサイクル・リユースする空間と道具を提供する
センターから排出される余剰熱などを有効利用する
里山や近隣の山からの恵みを活用し、地元の方と協力して、特産物の開発を試みる
豊かな環境を保全し再生すると共に循環型社会の形成に取り組む
人と自然が共存・共生できる豊かな環境の保全再生を図るとともに、循環型社会の形成をめざす
人と自然が共存・共生できる豊かな環境を、保全・再生するとともに循環型社会の形成を図る
人は自然に生かされていることを忘れず、豊かな環境を保全・再生するとともに、循環型社会の形成に取り組む

施設整備計画方針

【基本理念】

【基本方針】

周辺環境を保全・再生し、自然との共存・共生の場を提供する

- 季節を感じ、自然の恵みを感じられる自然環境を保全・再生する
- 生物多様性を図る
- 周辺景観との調和を図る

「ごみ」を通じて、資源と環境の大切さを学ぶ場を提供する

- 資源の循環を通じ、環境問題を学ぶ
- 廃棄物の適正処理、リサイクルを通じ、資源・環境問題を学ぶ
- 体験型の環境学習の場を提供する

豊かな心を育む集いの場を提供する

- 誰もが気軽に立ち寄り、自然にふれあうことができる場とする
- 住民と共に環境保全に取り組み、交流が図れる場とする
- 環境情報の発信拠点とする